

神奈川県 石川ひろのり

議会議員 県議会レポート 2019 特別号

住み続けたい街
麻生区のために



石川ひろのり事務所
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎9階
TEL 045-210-7620 FAX 045-210-8911

http://www.hiro-ishikawa.jp/ 石川ひろのり

本当に神奈川県は住みやすいのか
あなたの納めた税金を
「生まれて・育って・住んで良かった」
誇りある神奈川県に。
今日より明日はきっといいことがある。
住み続けたい神奈川県を目指して。

徹底的に
現場主義

県税の使い方について考える。

県外部監査も指摘！ 環境系財団法人への20年間で63億円の補助金拠出

1月、外部監査報告結果が県に提出されました。その中で、昨年の環境農政常任委員会で「県民還元の結果が明確に答えられない事業であれば補助の見直しを検討すべき」と強く指摘した「地球環境戦略研究機関 (IGES)」について、県が施設の無償貸与など当初の誘致計画以上の支援を行っていることなどをあげ改善が要望されました。

2018年3月

環境農政常任委員会での石川ひろのりの質問

「環境系財団に20年間で63億円の補助金」

石川 昨年(2017)12月、(公財)地球環境戦略研究機関(※IGES)に対し管理費として20年間で27億円の補助を行い、どのような県民還元がなされたか質疑をした。今回、平成30年度予算に2億1,000万円の借上げ事業費(施設賃借料)が計上されている。この事業費は前回質疑をした27億円の中に入っているのか。入っていないのであれば、総額何年でいくぐらい施設賃借料を計上してきたのか。

環境計画課長 27億円の中には、施設賃借料は含まれていない。平成10年度から平成28年度までの賃借料の総額は約36億円になる。

石川 前回の質疑で施設賃借料の答弁はなく、かつ、約36億円という金額には驚きだ。管理費、施設賃借料を足すと20年間で約63億円もの補助金が出ていたことになる。平成30年度予算編成において、県は800億円の財源不足と発表していた状況の中、平成30年度も管理費8,854万円、施設賃借料2億1,000万円、併せて約3億円を計上している。IGESは20年前に県が誘致したことは理解をしている。県はどのような目的で誘致をしたのか。

環境計画課長 県として、環境分野における国際貢献、研究成果のフィードバック、県内の環境人材育成の促進、県内大学や研究機関への好影響、この四つを狙いと誘致をした。

石川 20年間でその目的はどこまで達成されたのか。また、20年間で約63億円も補助金を出したことに伴い、県民にどのような還元がなされたのか。

環境計画課長 かながわ国際交流財団や様々な主体による共同セミナー、子供向けの自然観察会、講師派遣などを行い一定程度の地元貢献はできている。また、前回石川委員からの指摘をうけIGESの得意分野である地球温暖化対策について県内の産業界と連携ができないかなど、二酸化炭素削減について企業の取組を支援するセミナー開催など協議を進めている。

石川 講師派遣やセミナーであれば、都度IGESに依頼をすれば、講師料や交通費など会場費も含めて3億円もかからない。県予算が厳しい状況の中、**県民還元の結果が明確に答えられない事業であれば、IGESに対しての補助見直しを検討する時期に来ている**ことを強く指摘しておく。

※IGES …アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向けた実践的な政策研究を行っている研究機関。



横浜市営地下鉄3号線延伸(あざみ野~新百合ヶ丘) 事業化決定!

1月23日、横浜市及び川崎市による共同記者会見が行われ、横浜市営地下鉄3号線の延伸事業化が決定しました。平成12年、国の運輸政策審議会答申において「平成27年までに開業が適当」位置づけながらも、着工すらされていない現状について粘り強く県行政に対し提案を続けて参りました。

2016年9月

一般質問での石川ひろのりの質問内容

地下鉄延伸について、一般質問他委員会等でも幾度となく提案を行いました。

石川 横浜市営地下鉄3号線延伸について、平成28年4月の交通政策審議会の答申では、横浜市北部や川崎市北部と横浜市中心部とのアクセス利便性の向上が認められるとされた。リニア中央新幹線の開業前倒しも踏まえ、地域住民のニーズはもちろん、県内回遊性を促すためにも、横浜市営地下鉄3号線延伸に対して、沿線市と連携し、魅力あふれるまちづくりに取り組むべきである。具体的には、県として応分の費用を負担し、早期開業に向けて取り組むべきと考える。

知事 横浜市営地下鉄3号線「新百合ヶ丘駅」までの延伸については、横浜市北部や川崎市内陸部の交通利便性の向上が期待される路線として神奈川交通計画に位置付けている。この横浜市営地下鉄3号線延伸について、国の交通政策審議会の答申では、課題として、横浜市と川崎市に跨る路線であるため、事業化に向けて両市が協調して、費用負担のあり方や事業主体等を含めた事業計画について、合意形成を進めるべきとの検討結果が示されている。まずは両市での検討を深め計画のレベルアップを図ることが必要である。新たな鉄道ネットワーク形成に資する事業であることから、**県として両市の検討状況をみながら、国に対し助成制度の拡充を要望するなど支援をしていきたい。**

2019年1月 横浜市・川崎市「横浜市営地下鉄延伸」記者会見要旨

- 延伸区間には新たに4駅を設置し、平成42(2030)年開業を目指す。
- 需要予測8万人/日。整備効果として移動時間の短縮(例)
(例)新百合ヶ丘~あざみ野 約30分→約10分 **約20分短縮**(乗り換えなし)
新百合ヶ丘~新横浜 約35分→約27分 **約8分短縮**(乗り換えなし)
- ルートについては、市民の皆さまのご意見を伺い平成31年度中を目途に選定予定
- 川崎市側有カルートとして「ヨネツティー王禅寺付近」を中間駅設置とした場合、既存バス路線との連携を図ることが可能であり、公共交通ネットワークの充実において、最も相乗効果が見込まれる。



2019年1月24日 神奈川新聞掲載

この4年間、石川ひろのりは、病児保育問題・保育士確保・休日保育・経済的困窮家庭に対するこども支援などの「子育て環境」、生徒のための高校改革など「教育問題」、買い物弱者対策などの「高齢者福祉問題」、2022年生産緑地問題・都市農業・里地里山など「自然環境保全」について、県行政に粘り強く質疑、提案を重ねて参りました。詳しくは石川ひろのりホームページ又は神奈川県議会 会議録のホームページをぜひご覧ください。

活動報告

徹底的に
現場主義

▶「あさお古風七草粥の会」

1月、麻生区役所広場で開催された「第16回あさお古風七草粥の会」に参加。今年も多くの方が参加され、開催30分前から並ばれた方もいるほどの盛況ぶりでした。この「あさお古風七草粥」に使う食材は、すべて地元で栽培された米、野菜をはじめ、七草も麻生区で採ったものを使用しています。また、七草粥に入れるお餅を焼く炭は、早野聖地公園のボランティアの皆さんが焼いた地元の炭を使用しており、まさに地産地消の「七草粥」となっています。当日会場では鉢植えされた七草のプランターもあり、皆さん興味深く鑑賞されていました。このほか、お雑子・かるた取り、羽根つきなど昔ながらのお正月遊びも紹介され、日本古来の伝統文化を多くの方が楽しまれていました。自然豊かな麻生区だからこそこの行事。ぜひ今後も大切に継承していただきたいと思ひます。ご尽力いただいた皆さまありがとうございました。



▶平成31年 麻生地区消防出初式

1月、麻生区内で行われた「平成31年麻生地区消防出初式」に出席。

今年は、救助工作車によるデモンストレーションや消防音楽隊とカラーガード隊によるドリル演技などが行われ、クライマックスの一斉放水では来場者から大きな拍手と歓声が起きていました。また、今年初めての試みとして、平成30年度麻生消防団ポンプ操法大会優秀チームの柿生分団黒川班による小型ポンプ操法が披露されました。今年例年以上に見学者の方も多く、地域の皆さんの防災意識の高まりを感じております。昨年、麻生区内での火災発生件数は一昨年と比較し9件減の21件。麻生区の主な出火原因は「電気」(配線器具・電気機器など)。ほか、たばこが原因の火災も多いそうです。乾燥した日が続きます。皆さまも火の元には十分ご注意ください。



▶「百合ヶ丘駅前交差点 渋滞対策」要望

現在、地域の皆さまから「百合ヶ丘駅前の渋滞」について、多くのご要望・ご意見をお寄せ頂いています。昨年2月、信号機更新を行った際、事故防止のため運用変更(ロータリー側左折表示撤去)が行われました。麻生警察署担当者と幾度となく協議を行い、信号機の周期・表示を変更したことにより、平日の通勤時間帯の混雑は緩和されつつあります(交通量調査済)。現在、週末の買い物時間帯の状況を改めて確認中です。今後も麻生警察署と連携を取りながら、適切な改善を求めて参ります。



県政報告(タウンニュース掲載)

2018年12月21日



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ/横浜市出身/サラリーマンを約20年経験/参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。

11月、川崎市選出議員の会幹事として、平成31年度神奈川県議会議員選挙の候補者について、私は県議会で何成に成る川崎市からの度も取り上げ「湘南台駅周辺」を黒岩知事に提出。主に「横浜市内地下鉄3号線新百合ヶ丘駅までの延伸工事」、「柿生駅周辺の市街地再開発事業」について知事に対して説明しました。

11月、川崎市選出議員の会幹事として、平成31年度神奈川県議会議員選挙の候補者について、私は県議会で何成に成る川崎市からの度も取り上げ「湘南台駅周辺」を黒岩知事に提出。主に「横浜市内地下鉄3号線新百合ヶ丘駅までの延伸工事」、「柿生駅周辺の市街地再開発事業」について知事に対して説明しました。

11月、川崎市選出議員の会幹事として、平成31年度神奈川県議会議員選挙の候補者について、私は県議会で何成に成る川崎市からの度も取り上げ「湘南台駅周辺」を黒岩知事に提出。主に「横浜市内地下鉄3号線新百合ヶ丘駅までの延伸工事」、「柿生駅周辺の市街地再開発事業」について知事に対して説明しました。

横浜市営地下鉄新百合ヶ丘駅延伸など「県の予算編成に対する要望書」を黒岩知事に提出

神奈川県議会議員 石川ひろのり



要望書を黒岩知事に提出

横浜市営地下鉄新百合ヶ丘駅延伸など「県の予算編成に対する要望書」を黒岩知事に提出

▶高石神社「流鏝馬」

1月、毎年「成人の日」に開催される高石神社での「流鏝馬」に参加。高石地区では江戸時代から行われていると言われていいます。現在は流鏝馬保存会の皆さんによってこの伝統の神事が大切に継承され、弓の材料となるガズミの木も境内で育て、弓を毎年つくり変えられています。高石神社の流鏝馬は一般の方も参加できる風物詩となっており、的を射抜くとその年の無病息災の願いが叶うと言われていいます。私も今年で5回目の挑戦。今年こそと挑みましたが、残念ながら的を射抜くことは出来ませんでした。今後も地域の伝統行事として末永く残して頂きたいと思ひます。



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。

趣味：ジョギング(湘南国際マラソン大会5年連続出場。自己ベスト記録3時間29分28秒) 家族：妻、子供一人
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父親から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

私は約20年サラリーマンを経験し、その経験を政治の場に活かしたいと考え、秘書経験を8年積んだ上で2015年県議会議員に初当選させて頂きました。秘書経験の中で、多くの方とお話をさせて頂き共通する話は「皆さんの声が政治の場に届いていないという不信感」でした。私は、この想いを忘れず「徹底的に現場主義」を信条として、現地・現場で「見る」「聞く」「話す」ことにより、1期4年の議会活動の中で、県の取組みに対して提案を続けてきました。今後もこれらの経験を活かし、そしてマラソンの時のように粘り強く皆さんの声を政治の場に届けていきます。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。 [石川ひろのり](#) 検索

ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動へのご支援(個人献金)のお願い | 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談ください。ようお願い申し上げます。▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614	ご意見など	お名前	TEL
		ご住所	